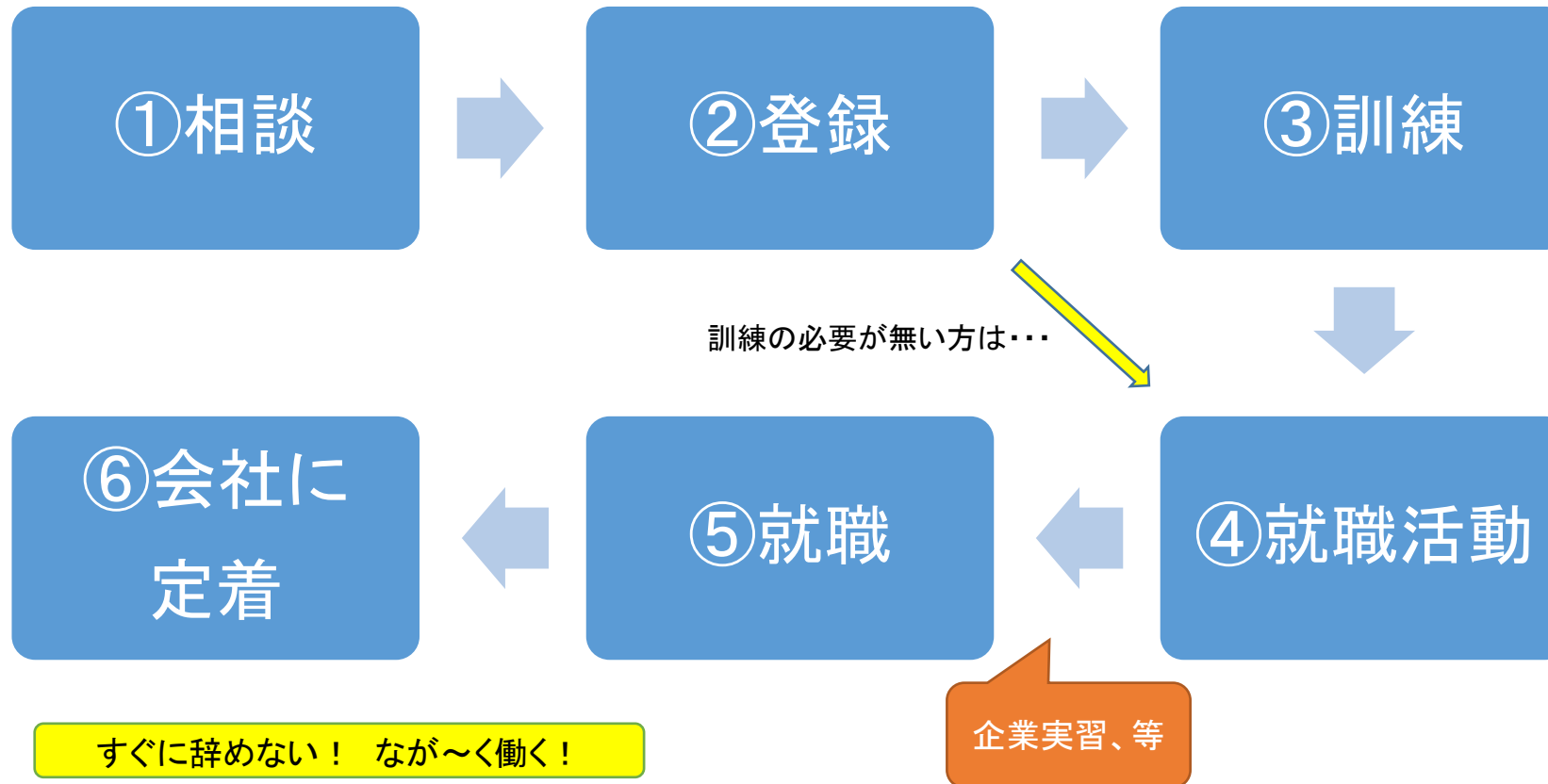


障害者就業・生活支援センター—SWAN の紹介

障害者就業・生活支援センター—SWAN
センター長 中村竜志

障害者就業・生活支援センターSWAN の主な支援の流れ



①相談

- センターに、**どんな支援を希望**しているのかを確認します。
 - ・一般企業で働きたいのか？福祉施設で働きたいのか？等
- 自身の状態を一緒に確認します。
 - ・どんなスキルがあるのか？
 - ・就職について、どんな部分に不足や不安を感じているのか？
- 「企業で働きたい」を実現するための方針を一緒に検討します。
 - ・就職する為に不足や不安があるか？
 - ・不足しているものを補う方法は？
 - ・就職に向けて「訓練する機関」を紹介します。

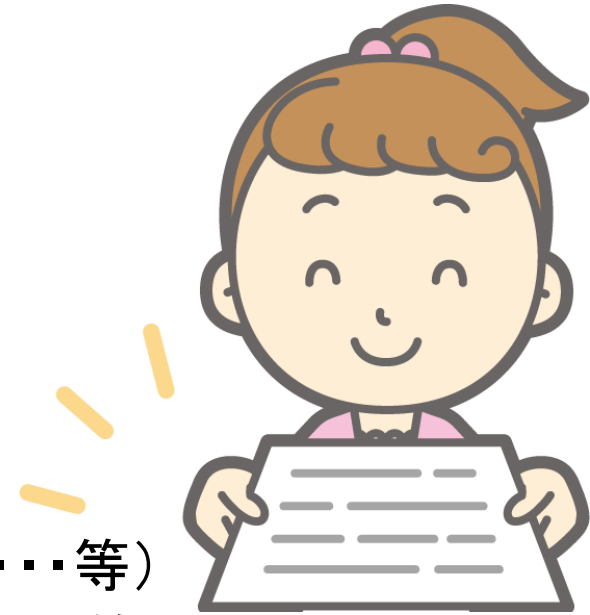


②登録

①の相談で支援が可能であると判断したら・・・

●障害者就業・生活支援センターに登録

- ・基本的な情報をいただきます。(住所、氏名、電話番号、・・・等)
 - ・障害に関する情報をいただきます。(手帳、病気の状況、・・・等)
 - ・その他、必要な情報をいただきます。(職歴、・・・等)
- ・概ね、1回60～90分程度、2回程度の相談を基本としています。
- ・**訓練機関に所属している方は職員さんと相談の上、登録を！**
 - ・在学学生は先生と相談の上、先生にも同席を依頼してください
 - ・センター登録及び支援について、料金は発生しません



③ 訓練

(不足や不安のある方は就労に向けた訓練機関を紹介します)

● 訓練先探し

・作業系、事務系、特殊技能系・・・、希望に合った訓練機関を一緒に探します。

Ex, 就労移行支援事業所

障害者職業センター準備支援

就労継続支援A型事業所、B型事業所

企業実習、県委託訓練、等



④就職活動

訓練先に所属している方は、訓練先の職員さんと一緒に就職活動をします。

- ・企業実習受け入れ先を訓練機関担当者さんと一緒に探します。
- ・就職先となる会社を訓練機関担当者さんと一緒に探します。
- ・履歴書の書き方を添削指導します。
- ・面接練習を行います。
- ・紹介状の発行に同行します。
- ・面接に同行します。

多くの場合、採用面接の前に「企業実習」を実施します。

これにより、就職後に発覚する「こんなはずじゃなかった」を減らす事ができ、定着率向上につながります。

※各自、必要に応じた支援を行います。

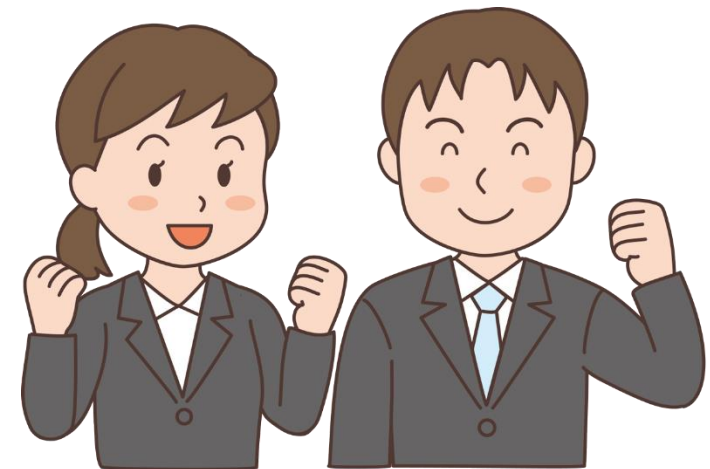
自分でできる事は自分でやります。

⑤就職

(就職活動の段階で、企業実習を行う場合が多いです)

- 就職に関する書類の確認と作成を一緒に行います。
- 初日に必要な持ち物などの確認を一緒に行います。
- 就職初日に同行し、今後の支援の確認をします。

※各自、必要に応じた支援を行います。



⑥会社に定着

- ・仕事を続けて行く中で生じる困り事や悩みを聞き、相談に乗り、解決方法を一緒に考えます。
- ・会社と本人との間に立って、双方が良好に仕事ができるよう橋渡しします。
- ・「**仕事をしていく**」上で必要な生活の相談に乗ります。
- ・ステップアップの為の転職活動の相談に乗ります。
- ・(残念なケースですが)離職の為の支援をします。

実は「作業ができます」だけでは不十分です。

作業(仕事)は生活の一部
でしかないのです

登録時、支援時に困ったケース

- 学校（施設）の方に登録してきなさいと言われたので来ました。
（ご本人が支援や相談の必要性を感じていない）
- 就職が決まったので登録したいです。
（何をしたいのか？どんな事に困っているのか？どんな支援が必要なのか？）
- 生活の支援をしてくれると聞いて来ました。しつけをお願いします。
（家庭でのしつけや指導、家事等ではなく、お仕事の相談支援を行う機関です）
- 学校（施設）からの情報が少ない。特に課題となる部分の情報。
（課題が隠され、支援が後手に回り、問題になった後で介入しても手遅れになる事も）

センター登録と進路の事

- 就職が決まってからのセンター登録では遅いです。
- 知らない人が「支援者です」と出てきて、その人に相談できますか？
- 本人や会社の方と「はじめまして」の関係で、効果的な支援ができると思いますか？（支援者の勘と経験にも限界があります）

- 「就職する」が目標なのか、「会社で長く働く」が目標なのか。後者であれば、ご本人の「情報」が多く必要です。
- SWANでは、定着支援に役立つ情報を多く提供してくれる「就労移行事業所」との連携を強化しています。

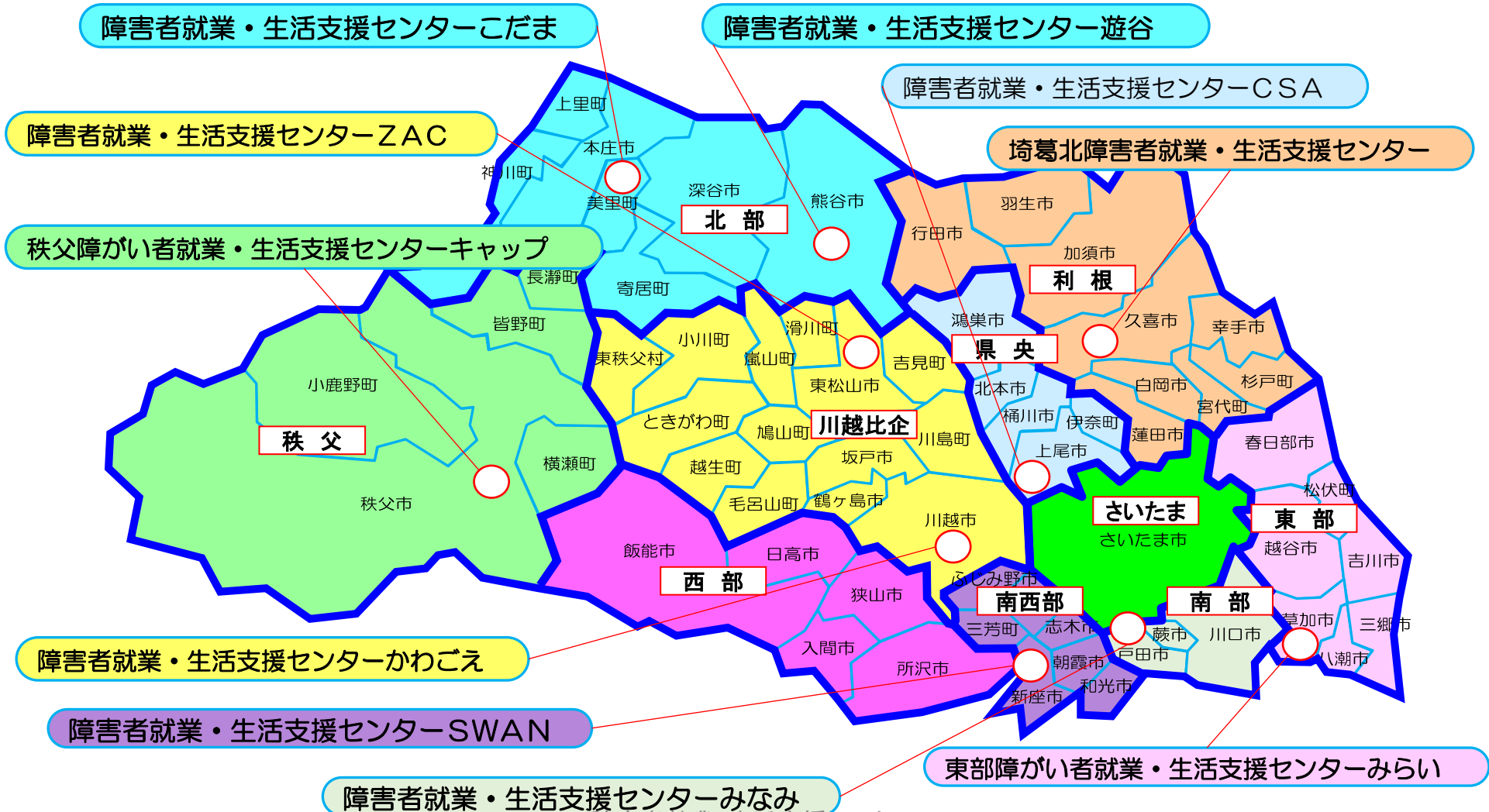
おまけ

就労移行支援事業所のすすめ

- 職業上の「困った事の相談の仕方」「ぶち当たった壁の乗り越え方」「お給料の使い方」等々、経験してきていますか？
- 本人の「働く意味、目的、意欲」が確立されていますか？
- これらの情報を企業側に提供できていますか？
- 就労移行支援事業所では、最長2年間の集中的な準備訓練を行ってもまだ不足と考え、専門の支援員が「定着支援」を実施しています。

障害者就業・生活支援センターの設置状況（令和4年度）

○ 障害者就業・生活支援センターは、10障害保健福祉圏域のうち8圏域に10か所設置されています。



市町村障害者就労支援センター設置状況（令和4年度）

○ 市町村障害者就労支援センターは、41か所に設置されています。

